



花育
NEWS

花と緑を楽しむ フラワーフェスティバル開催



開催日 令和4年9月24日(祝・土) 開催場所 いくとぴあ食花(中央区清五郎)
時間 午前10時~午後3時 花とみどりの展示館
(キラキラマーケット裏)

新潟市花育マスターによる ワークショップ

- ◎ボタニカルロールオンアロマ
- ◎芸術の秋 技あり!フローラルアート
- ◎小さなドライフラワーボックス
- ◎ドライフラワーの優しいプレート

新潟薬科大学
学生によるワークショップ

押花 de ありがとう

産業ビジネス学科の
学生さんが自分たちで
作った押花を使ったカワ
イしおり作りを教えて
くれるよ!

メインステージスケジュール

- ① 10:00~ ② 13:00~
☆花のプロ(フラワー装飾技能士)による
フラワーアレンジのデモンストレーション
- ① 11:00~ ② 14:00~
☆競りを体験?!
植物チャリティーオークション
- 14:45~
☆最後はみんなでジャンケン大会
10名にステキなお花をプレゼント

植物販売

◎秋植えのかわいい花苗や
ちょっと変わった多肉植物
などが買えますよ!
秋の寄せ植えにおすすめ

マルシェ

◎植物にちなんだかわいいハンド
メイド雑貨の販売やスペシャリティ
なコーヒーを楽しめるお店が出展し
ます。美味しいコーヒーときれいな
花と緑に癒される時間をお楽しみ
ください

主催・問い合わせ: いくとぴあ食花運営グループ(025-282-4181) 新潟市食と花の推進課(025-226-1792)

<発行・問合せ> 新潟市農林水産部 食と花の推進課 食育・花育担当
〒951-8554 新潟市中央区古町通7番町1010番地 Tel: 025-226-1792 FAX: 025-226-0021
E-mail: shokuhana@city.niigata.lg.jp 【花育通信 Vol.42 2022年8月発行】

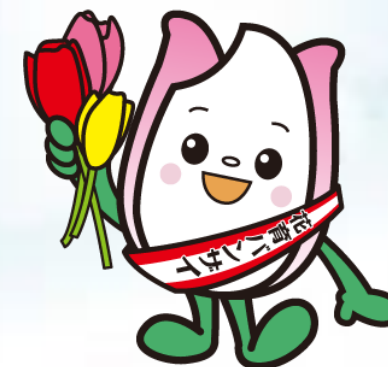
にいがた

花育通信

Vol.42

- Contents -

- ◎花の食の探究ツアー一記
- ◎花育俳句募集情報
- ◎花育 NEWS



新潟市食育・花育推進キャラクター まいかちゃん



~食と花の探究ツアー 北区トルコキキョウ栽培ハウスにて~

花の生産者を訪ねる

花と食の探究ツアー記



新潟市で花生産を頑張っている生産者さんを訪ね、生の声と生産現場を知るバスツアーを開催しました。参加者は小学4年生から60代まで、幅広い世代が集まり今回の目的地である東区と北区に向け出発進行！

10:00 東区竹尾
皆川農園キク畑
皆川さんと大学生の息子さんから話を伺います



江戸末期から続くキク農家の皆川農園栽培方法や市場への出荷方法など詳しく教えていただきました



～昼食～

北区新崎にあるタカギ農場さんの農家レストラン「エストルト」で名産のトマトを使ったパスタや新鮮サラダを満喫！

野菜やトマトが苦手だという子どももしっかり完食していました



13:00 福島潟菱風荘
北区葛塚の花店「里乃彩」の栗山さんによるハーバリウムのワークショップ。使う花やデザインを考えながら、大人も子どももみんなで楽しみました



トルコキキョウの栽培や切花を長持ちさせる方法などを教えていただき、ハウス内では収穫体験も行いました。暑いハウス内の作業が大変だと実感できました(一気に汗が流れます)



14:30 北区太田(旧豊栄)伊藤さんのトルコキキョウ生産ビニールハウス満開の花にキレイ!との声があがりました



～参加者の声～

- 農家の人は気持ちが込められた花を大事に育てているのだと知った(小4)
- 苦労ややりがいを知れた(小5)
- 新潟産の良さを再確認した(60代)
- 地産地消といえどもなんとなく手頃な方を買ってしまっていたのですが、今回、実際に農家の方とお会いしてどれだけのご苦労と生産物にかかる思いや愛を知り、新潟の物、地の物を買ひ、なおかつ楽しんでいきたいと思いました(30代)



「新潟市花育俳句」募集、今年もやります！

ここ数年続くコロナ禍の中、花や緑の持つパワーを知った、再確認した、という人も多いと思います。そこで、今年の花育俳句の大テーマは「花のある生活」とし生活の中で花や緑から感じたことを5・7・5調の俳句にして詠んでみませんか？小学生以上ならどなたでも応募できます。募集期間は9月1日～10月31日(応募の詳細は市報にいがたや新潟市ホームページに掲載)

参考に昨年の優秀句の一部とエピソードをご紹介します。

過去3回の全作品は新潟市ホームページに掲載中 → 花育俳句

花育で始めて三年今や趣味



第4回 花育俳句募集決定！

アザレアが ひらひらおどる ぼくの庭

神奈川県秦野市 4年生 男子

僕の家にあるアザレアの濃いピンクの花びらが風にヒラヒラ揺れる様子が踊っているようにみえたことを俳句にしてみました。



百合を手に はにかむ祖母の おさげ髪

福島県郡山市 30代 女性

この句は少女時代の祖母の写真を詠んだものです。あとけなく、はにかんだおさげ髪の祖母の手には可憐な百合の花が添えられていました。その写真を見ながら、頑固だった祖父とはいつどこで出会い、スマホも無い時代のデートはどんな風だったのだろうかと思いを巡らせました。

白無垢や 紅ひく口に ポケが咲く

東京都荒川区 30代 女性

修学旅行で由緒ある神社に行った際に見た結婚式の光景を詠んでみました。あの時の花嫁さんのようになれたかは定かではありませんが、私も結婚し母になりました。



師の涙 添えて巣立ちし チューリップ

新潟市江南区 50代 女性

かつて小学校で教師をしており、6年生を担当していたときの卒業式のことを句にしました。式の最後、卒業生が退場する時に担任が一輪のチューリップを一人ひとりに渡すことになっていました。堂々と卒業証書を受け取り、合唱をしたりする子どもたちを見守りながらも子どもたちの前では絶対に涙は見せないようにしていました。ですが、退場の時にチューリップを渡し始めると、その子との思い出や今まで頑張っていた姿が目浮かびました。更に、スーッと真っ直ぐに茎を伸ばし鮮やかな花をつけるチューリップが、巣立つ子どもたちの未来を応援する気持ちと重なり、涙があふれてしまいました。その涙は、渡そうとしていたチューリップに落ち、子どもたちは私の涙を添えたチューリップと共に巣立ちました。今でも、チューリップは3月になると飾る私にとって特別な花です。

